

委員会設置提案書

委員会の名称	災害に備えたレジリエントな照明手法研究調査委員会
英文表記	Research Committee on Resilient Lighting Techniques for Disasters
事業部門	研究調査委員会
関連常置委員会名	視覚・色・光環境分科会
設置の趣旨	地震や水害、火災などが発生した時の照明デザインについて考える。災害発生時には停電になることも予想され、照明が消灯し、避難勧告も届かないことがある。災害発生から短時間に、各個人が自主的に避難できるようにしなければならない。災害に強いレジリエントな照明とは何かについて、照明技術的な側面、避難行動や人間心理的な側面、そして屋内外の空間特性に応じた照明計画的な側面から調査研究を行う。
予測される成果	国内外の研究成果や適用事例を踏まえた避難誘導のための照明システム、災害に備える照明器具、非常時の照明デザイン手法などを提示することを予定している。
成果のフォローアップ (会員への還元)	委員会終了後に報告書を作成し、発行する。また公開研究会を開催し委員会活動により得られた成果を報告する。
委員会の構成 (氏名：所属)	委員長（予定者）小林茂雄（東京都市大学） 幹事（予定者） 委員 角館政英（ぼんぼり光環境計画）、長町志穂（LEM 空間工房）ほか 10名程度
設置期間	2020年4月～2022年3月
委員会開回数／年	4回/年程度
活動計画	1. 研究報告書の作成 2. 学会指針等の提供 3. 公開研究会等の開催
経費 委員等の旅費の支給対象の有無	<input type="checkbox"/> 有（理由： ） 支給対象者名 支給予算額 <input type="checkbox"/> 無
備考	

理事会の承認	承認 年 月 日
--------	----------